Panasonic

設定マニュアル

住まいるサポ [E型] 2:2

品番 **WQH700WK・WQH700W□□□□（親機）**

■本冊子に記載されているのは施工時に必要な設定です。
必ず施工店様で設定を行ってください。

- 正しくお使いいただくために必ずお読みください。
- 設定後、必ず施主様にお渡しください。

もくじ

本製品は使用用途に応じて、「通常モード」か「AiSEG専用モード」かを選択してお使いください。選択するモードによって説明ページが異なりますので、該当するページをご確認ください。

ドアホン子器などを使用する場合
（インターホンのモニターとして使用）
※AiSEGのモニターとしても使用できます。

➡ **通常モード**

●必ず設定してください…… 4
●ワイヤレス機器を準備する…… 5
●施工設定を開始・終了するには…… 8
●接続機器を設定する…… 14
●ワイヤレス機器を設定・登録する…… 16
　設定・登録の流れ…… 16
　発信器・送信器・中継器のあらまし…… 17
　発信器・送信器・中継器の登録…… 19
　住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）の登録 …… 25
　警報ランプ付ブザー受信器の登録…… 27
●電波到達を確認する…… 29
　発信器・送信器の電波到達確認…… 29
　住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）
　　の電波到達確認…… 30
　警報ランプ付ブザー受信器の電波到達確認 …… 32
●ワイヤレス機器登録を個別消去する…… 33
　発信器・送信器・中継器の個別消去…… 33
　住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）の個別消去…… 34
●ワイヤレス機器登録を全消去する…… 35
●送信器の登録エリアを変更する…… 36
●動作確認とトラブル処置について…… 37
●出荷時設定に戻す…… 42
●展示モードについて…… 43
●SDメモリーカードでファームウェアを更新する …… 45
●設定データをバックアップする…… 47
●バックアップデータをリストアする…… 49
●設定状態シート…… 51
●登録設定シート…… 52

ドアホン子器などを使用しない場合
（AiSEGの専用モニターとして使用）

AiSEG専用モード

- AiSEG専用モードで使用する場合 …… 55
- 出荷時設定に戻す…… 42
- 展示モードについて…… 43
- SDメモリーカードでファームウェアを更新する …… 45

注

AiSEG専用モードで使用する場合、下記の機器は接続・登録できません。

- ドアホン子器や副親機、通話副親機の接続
- 増設スピーカーの接続
- 電気錠操作器の接続
- ドアセンサーなどのワイヤレス機器の登録
- 警報ランプ付ブザー受信器の登録
- 火災警報器の登録

必ず設定してください

注 モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、以下の設定は不要です。

1. 接続設定をする（参照 14～15ページ）

●電気錠操作器を接続する場合

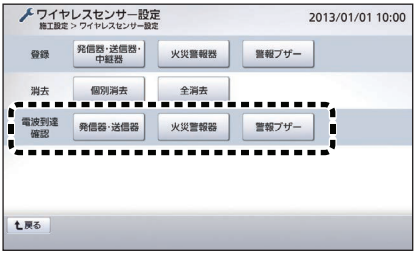
●子器のタイプを設定する場合

●AiSEGまたはインターネット回線を接続する場合

2. ワイヤレス機器の設定をする（参照 16～32ページ）

●登録操作

●電波到達確認



ワイヤレス機器を準備する

1. システム構成機器を確認する

注 モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。

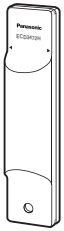
■発信器・送信器

玄関エリア用

小電力型ワイヤレスドアセンサー送信器
(受信器連動警報機能付)

ドアの開閉を検知し、
電波を送信します。

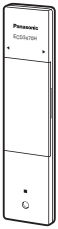
ECD3472A・H(防雨形)
ECD3472AP・HP(防雨形)



窓1・窓2エリア用

小電力型ワイヤレス
窓センサー送信器
(受信器連動警報機能付)

窓、クレセント錠の開閉を検知し、
電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。

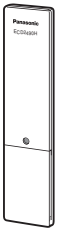


窓の開閉検知(クレセント錠検知)

ECD3470A・H(防沫形)
ECD3470AP・HP(防沫形)

小電力型ワイヤレス
窓ガラス破壊センサー送信器

窓ガラスが割れたことを検知し、
電波を送信します。
防沫形なので浴室の窓にも使えます。



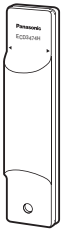
窓ガラスの破壊検知

ECD2490A・H(防沫形)
ECD2490AP・HP(防沫形)

敷地エリア用

小電力型ワイヤレス
門扉センサー送信器
(受信器連動警報機能付)

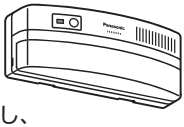
門扉の開閉を検知し、電波を
送信します。



門扉用

ECD3474A・H(防雨形)
ECD3474AP・HP(防雨形)

小電力型ワイヤレス
熱線センサー送信器
(屋側用)



建物付近の侵入者を検知し、
電波を送信します。

敷地用

ECD3420A・H
ECD3420AP・HP

次ページへ続く

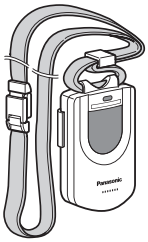
■発信器・送信器(つづき)・中継器

非常用

小電力型ワイヤレス
ペンダント発信器

ボタンが押されると、
電波を送信します。
首にかけられるタイプです。

ECD2305



小電力型ワイヤレス
壁掛発信器

ボタンが押されると、
電波を送信します。
壁に取り付けるタイプです。

ECD2308

警戒セット・解除用

小電力型ワイヤレス警戒セット・
解除発信器(アンサーバック付)

遠隔操作で警戒セットや
解除ができます。

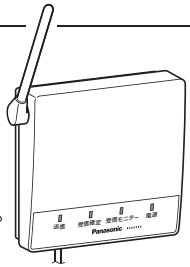
ECD3320
ECD3320P

中継器

小電力型ワイヤレス
中継器

発信器・送信器～
住まいるサポ親機間の
電波を中継し、電波の
到達距離を伸ばします。

ECD3100



■警報ブザー

小電力型ワイヤレス
警報ランプ付ブザー受信器(屋側用)

住まいるサポ親機から送られる警報信号を
光と音で表示します。

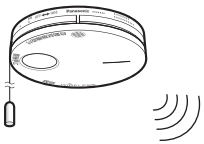
ECD6130K

■火災警報器

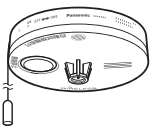
住宅用火災警報器
(ワイヤレス連動型)

住宅用火災警報器が作動
すると電波を送信します。

SHK32717
連動親器(1台のみ)



(例) **SHK32427**
SHK32427Y
SHK32127
連動子器(13台まで)



※セット品(SHK6902P)もあります。
※SH品番も使用できます。

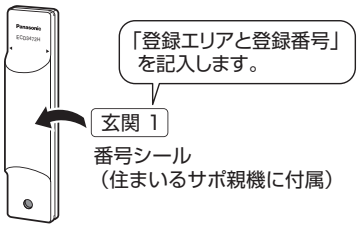
2. 発信器・送信器にシールを貼る

●エリア、用途ごとに分けて登録する順に並べて、番号シールを貼っておきます。

注
- 登録番号は重複しないように1から順番に通し番号で記入してください。
- 窓センサー送信器と窓ガラス破壊センサー送信器はエリアスイッチを設定してください。設定していないと、登録したいエリアに登録できません。
  各商品に付属の説明書を参照してください。
- 電池交換時や異常時の点検のために、各機器を登録したエリア、および登録番号を52～53ページの「登録設定シート」に記入してください。

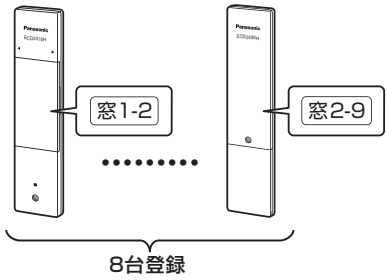
玄関エリア用

例



窓1・窓2エリア用

例

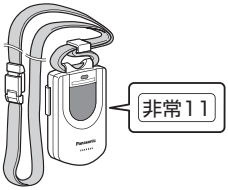


敷地エリア用

例

非常用

例



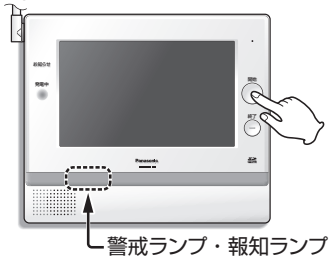
シールを貼った順に住まいるサポ親機の近くに並べておいてください。

施工設定を開始・終了するには

注
- 本製品をAiSEG専用モードで使用する場合については、55ページを参照してください。
- 施工設定は、手順6で［はい］をタッチしてから20分以内に行ってください。
  20分を超えると自動的に施工設定を終了します。
- 施工設定の途中で電源が切れると設定されませんので、最初からやり直してください。
  施工設定は、一度設定すれば停電になっても設定内容は消えません。

1 モニター画面と警戒ランプ、報知ランプが消えている状態で開始ボタンを押す

➡ホーム画面が表示されます。

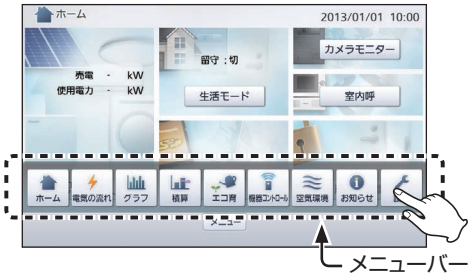


2 ［メニュー］をタッチする

➡メニューバーが表示されます。

3 ［設定］をタッチする

➡設定画面が表示されます。

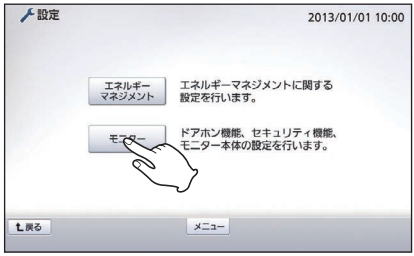


- ネットワーク連携設定（参照 15ページ）を「切」に設定した場合は、右のような画面が表示されます。
  ［設定］をタッチするとドアホン機能設定画面が表示されますので、手順5に移ってください。

4 モニター をタッチする

➡ドアホン機能設定画面が表示されます。

➡モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合は、モニター設定画面（参照 57ページのメモ欄）が表示されます。以降の操作については10ページのメモ欄を参照してください。



5 施工設定 をタッチする

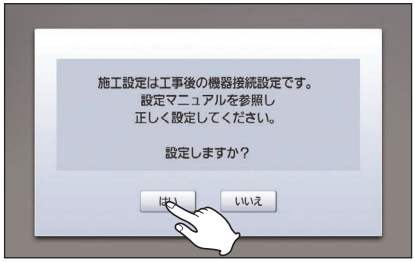
➡確認画面が表示されます。

6 はい をタッチする

●いいえ をタッチすると、ドアホン機能設定画面に戻ります。

注 ●右図と異なるメッセージが出た場合は 参照 12ページ

●手順 7 ～ 9 は はい をタッチしてから20分以内に行ってください。



7 設定したい項目をタッチする

●設定項目については11ページの表を参照してください。

次ページへ続く

8 設定項目を確定する

- 各設定項目については、14 ページ以降を参照してそれぞれ設定してください。
- 各画面で [戻る] をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

注 **接続されていない子器の項目は表示されません。**

（接続設定画面の場合）

9 終了ボタンを押す

➡設定を変更した場合は、「設定を更新後、再起動します。」が表示され、再起動が行われます。

➡設定を変更していない場合は、「設定を終了します。しばらくお待ちください。」が表示され、再起動が行われます。

- 開始ボタンを押して施工設定を終了することもできます。

注 **再起動中は住まいるサポ親機の操作はできません。**

メモ

- モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合は、手順 4 でモニター設定画面が表示されます。モニター設定画面で [施工設定] をタッチして表示される確認画面で [はい] をタッチすると右のような施工設定画面が表示されますので、設定したい項目をタッチしてください。

- 「AiSEG専用モード」で設定できる項目は「出荷時設定」「展示モード」「モード切換」「ファームウェア更新」です。（参照 11ページ）

設定項目		設定内容	工場出荷時設定	ページ
接続	電気錠1	電気錠1を接続しているか接続していないかを設定します。	なし	14ページ
	電気錠2	電気錠2を接続しているか接続していないかを設定します。	なし	14ページ
	子器1の警報表示	子器1の警報表示のなし/ありを設定します。	なし	14ページ
	子器2のカメラ設定	子器2のカメラ設定のなし/ありを設定します。	あり	15ページ
	ネットワーク連携	AiSEGまたはインターネット回線を接続しているか接続していないかを設定します。	入	15ページ
ワイヤレスセンサー		ワイヤレス機器の登録などを行います。	———	16～35ページ
出荷時設定		出荷時状態に戻すときに操作します。(ワイヤレス機器の登録も消去されます。)	———	42ページ
展示モード		店頭などでの展示用のモードにすることができます。	切	43～44ページ
モード切換		本製品をAiSEG専用モードで使用するときに操作します。	通常モード	55～57ページ
ファームウェア更新※1		SDメモリーカードを使ってファームウェアの更新を行うことができます。	———	45～46ページ
バックアップ		親機の設定内容をSDメモリーカードにバックアップ(保存)することができます。	———	47～48ページ
リストア※2		SDメモリーカードにバックアップ(保存)した内容で、親機の設定内容をリストア(復旧)することができます。	———	49～50ページ

※1：ファームウェア更新データが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみ表示

※2：バックアップデータが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみ表示

次ページへ続く

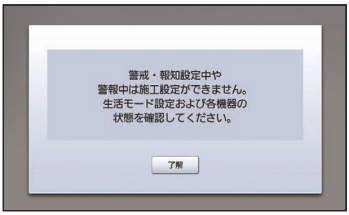
メモ

- 施工設定中は、副親機（通話副親機）では操作できません。また、子器から呼び出しがあっても住まいるサポ親機は動作しません。
- ネットワーク連携設定（参照 15ページ）を「切」に設定した場合、開始ボタンを押して表示されるホーム画面は右のようになります。

- 室内機、子器、電気錠、ワイヤレスセンサーの名称を自由に設定することができます。（参照 取扱説明書157～162ページ）

施工設定を開始しようとして下の画面が出た場合は…

工場出荷時状態では、生活モードが「在宅」以外に設定されていると、施工設定は開始できません。
了解 をタッチして、生活モードを「在宅」に設定してください。
（参照 取扱説明書70ページ）



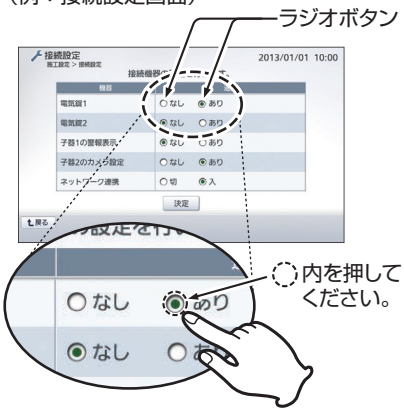
注

- **生活モードの詳細設定で在宅モードの防犯状態を変更した場合は、防犯状態を「非警戒」に設定したモードを選んでください。**
- **警戒や報知設定中、および警報中は施工設定は開始できません。各機器の状態を確認してください。**

ラジオボタンの操作方法について

設定画面などで使われるラジオボタン(◉や○)は以下のように操作してください。

（例：接続設定画面）



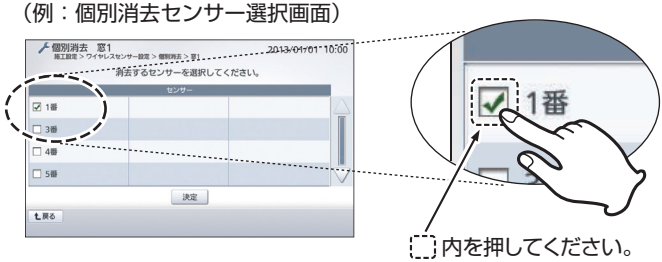
- ラジオボタンは操作できる範囲が小さいので、確実にボタンをタッチしてください。
- 操作しにくい場合は、市販のタッチペンなどをお使いください。

〔先端の鋭利な物は、モニター画面を傷つけますので、使用しないでください。〕

メモ

- チェックボックス（☑の選択ボタン）の操作方法も同様です。

（例：個別消去センサー選択画面）



接続機器を設定する

住まいるサポに接続されている機器に関する設定を行います。

注 **モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、以下の設定は不要です。**

1 施工設定画面を表示させる

（参照 8～9ページ）

2 接続 をタッチする

➡接続設定画面が表示されます。

3 電気錠1、電気錠2の「なし/あり」を選んでタッチする

- 電気錠を2台接続する場合は、それぞれ設定してください。
- 「なし」に設定すると、住まいるサポからは電気錠操作ができません。

4 子器1の警報表示の「なし/あり」を選んでタッチする

- 「あり」に設定すると、警報時に子器から警報音が鳴り、子器の警報表示灯が赤色点滅します。

注 **接続されていない子器の項目は表示されません。**

5 子器2のカメラ設定が「あり」に設定されていることを確認する

注 出荷時設定は「あり」です。変更しないでください。

6 ネットワーク連携の「切/入」を選んでタッチする

- AiSEGまたはインターネット回線を接続する場合は「入」を選んでください。

注 「切」に設定するとAiSEGを接続していてもAiSEG画面を表示することができません。

7 決定 をタッチする

➡設定が行われ、施工設定画面に戻ります。

ワイヤレス機器を設定・登録する

注 モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。

設定・登録の流れ

設定・登録は、次のような流れに沿って行います。

❶準備をする（参照 7ページ）

- 住まいるサポ親機の近くに登録する発信器・送信器を並べて、番号シールを貼ります。
- 住まいるサポ親機の電源を入れます。

❷発信器・送信器・中継器の登録（参照 19～24ページ）

- エリアごとに発信器・送信器、警戒セット・解除発信器、中継器を順に登録します。

❸住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)の登録（参照 25～26ページ）

- 住宅用火災警報器(ワイヤレス連動親器)を登録します。

❹警報ランプ付ブザー受信器の登録（参照 27～28ページ）

- 警報ランプ付ブザー受信器を登録します。

❺電波到達確認（参照 29～32ページ） 必ず実施してください。

- 登録した各機器の電波が住まいるサポ親機に届くことを確認します。

❻動作確認

- 取扱説明書にしたがって、各機器が正常に動作するか確認します。

発信器・送信器・中継器のあらまし

ワイヤレスセキュリティシステムは警戒したい場所や使い方が異なる「エリア・用途」に分かれています。発信器･送信器を登録する際には下記のことに注意してください。

- 複数個の発信器･送信器を１つのエリアに登録することができます。
  次ページの例：リビングの窓に取り付ける送信器3台はすべて同じエリアに登録します。
- すべてのエリアを使用する必要はありません。状況に応じてお使いください。

■登録できる発信器・送信器・中継器

エリア・用途	品　番	登録可能台数
玄関	ドアセンサー送信器(ECD3472A・H)(ECD3472AP・HP)	30台まで
窓1・窓2	窓センサー送信器(ECD3470A・H)(ECD3470AP・HP) 窓ガラス破壊センサー送信器(ECD2490A・H) (ECD2490AP・HP)	
敷地	門扉センサー送信器(ECD3474A・H)(ECD3474AP・HP) 熱線センサー送信器(ECD3420A・H)(ECD3420AP・HP)	
非常	ペンダント発信器(ECD2305) 壁掛発信器(ECD2308)	
警戒セット・解除用	警戒セット・解除発信器(ECD3320・ECD3320P)	7台まで
中継器	ワイヤレス中継器(ECD3100)	2台まで

注
- **ECE品番の発信器・送信器は登録できません。**
- **各機器の周波数設定は住まいるサポ親機の周波数チャンネル(工場出荷時設定：CH1)に合わせてください。**

■各エリアの報知／警戒動作説明

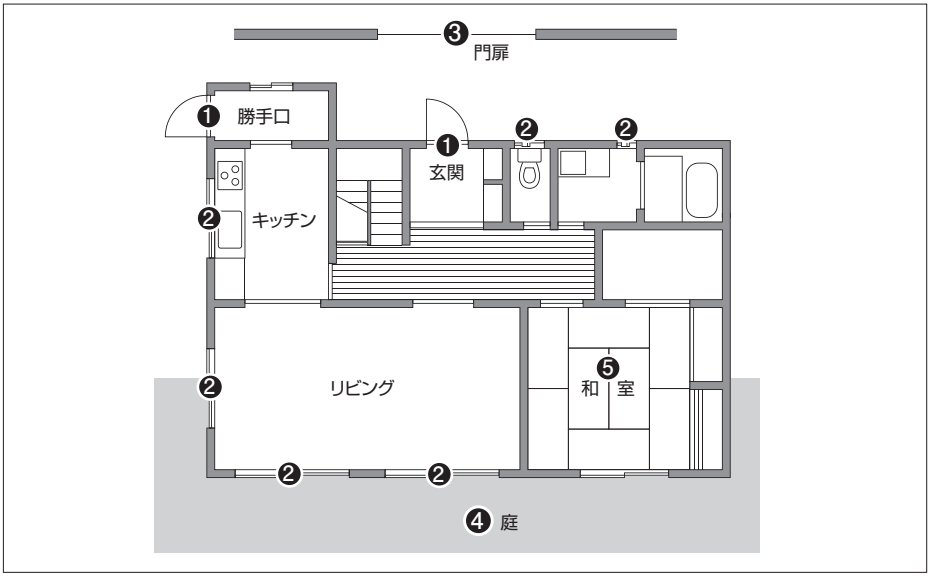
エリアよって、警戒セットまでの時間や防犯警報が鳴るまでの時間が異なります。

エリア	報知セット状態	警戒セット状態	
		警戒開始 遅延時間※2	予備警報時間※3
玄関	即時報知	5分	1分または5分
窓1・窓2※1	即時報知	0分	0分
敷地	即時報知	5分	0分
非常※1	常時警戒・即時警報		

※1.住まいるサポ親機の生活モード設定(警戒／報知セット状態)に関係なく、窓ガラス破壊センサー送信器および非常用に登録した発信器が異常を検知すると、警報音が鳴ります。
※2.警戒セットをしてから防犯警戒状態に入るまでの時間。この間に敷地内から出てください。
※3.防犯異常信号を受信してから、防犯警報に移行するまでの時間。この時間内に警戒解除操作を行えば、防犯警報には移行しません。

次ページへ続く

■発信器・送信器の配置見取り図(例)



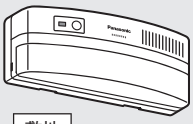
❶
玄関(勝手口)の警戒には…
ECD3472A・H
ECD3472AP・HP
ドアセンサー送信器
玄関

❷
窓の警戒には…
ECD3470A・H
ECD3470AP・HP
窓センサー送信器

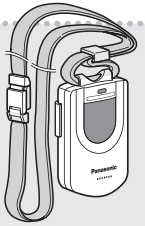
窓ガラスの破壊検知には…
ECD2490A・H
ECD2490AP・HP
窓ガラス破壊センサー送信器
窓1･窓2

❸
門扉の警戒には…
ECD3474A・H
ECD3474AP・HP
門扉センサー送信器
敷地

❹
お庭の警戒には…
ECD3420A・H
ECD3420AP・HP
熱線センサー送信器
敷地



❺
非常時の連絡には…
ECD2305
ペンダント発信器
非常



発信器・送信器・中継器の登録

注
- 発信器・送信器・中継器に付属の説明書も参照してください。
- 登録は住まいるサポ親機の近くで行ってください。
- 発信器・送信器は住まいるサポ親機に登録する前に中継器に登録してください。（参照）中継器の説明書）

1 施工設定画面を表示させる

（参照）8～9ページ）

2 [ワイヤレスセンサー]をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面が表示されます。

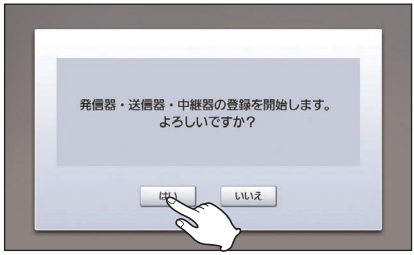
3 [発信器・送信器・中継器]をタッチする

➡確認画面が表示されます。

4 [はい]をタッチする

➡「各ワイヤレスセンサーの登録操作を行ってください。登録を終了する場合は完了ボタンを押してください。」が表示されます。

注 手順5～8は[はい]をタッチしてから10分以内に行ってください。

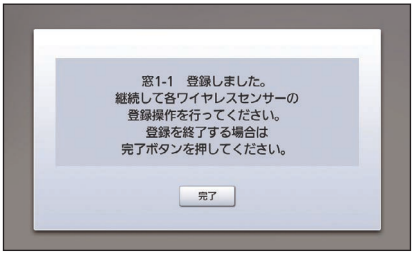


次ページへ続く

5 各エリア・用途ごとに番号シールの番号順（参照 7ページ）に、発信器・送信器を動作させる

（参照 22～23ページ）

➡登録されたエリア・用途名と登録番号が表示されます。



例）

エリア・用途名

窓1-1　登録しました。

登録番号

●電波が混信して登録できなかったり、最大登録台数を超えて登録しようとした場合は、「登録に失敗しました。」が表示されます。［了解］をタッチして、17ページの表で登録可能台数を確認し、登録可能台数を超えていない場合は再度登録操作を行ってください。

注

●各エリア・用途ごとに、番号シールの番号順に発信器・送信器を動作させないと、登録番号と番号シールの番号が一致しません。

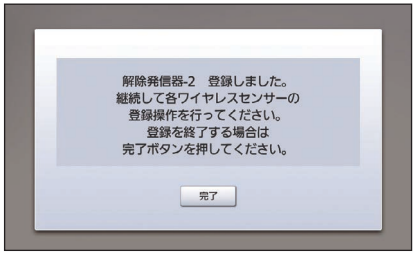
●各発信器・送信器の電池の入れ方、はずし方などについては、商品に付属の説明書を参照してください。

6 警戒セット・解除発信器を動作させる

(参照 24ページ)

➡「解除発信器-○ 登録しました。」(○は登録番号)が表示されます。

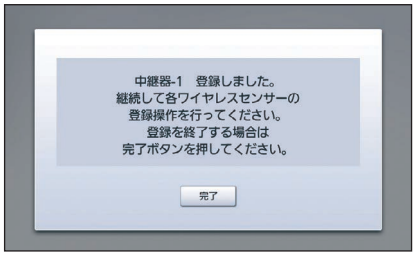
注 **複数個登録した場合は、番号と所有者をシートに書き込んでください。(参照 54ページ)**



7 中継器を動作させる

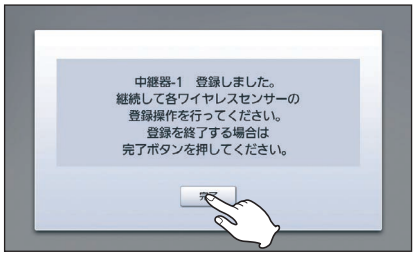
(参照 24ページ)

➡「中継器-○ 登録しました。」(○は登録番号)が表示されます。



8 すべての発信器・送信器・中継器の登録が終われば 完了 をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。



つづいて…

- 住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)を登録する場合は 参照 25～26ページ
- 警報ランプ付ブザー受信器を登録する場合は 参照 27～28ページ
- 登録が完了した場合は 参照 29～30ページ

次ページへ続く

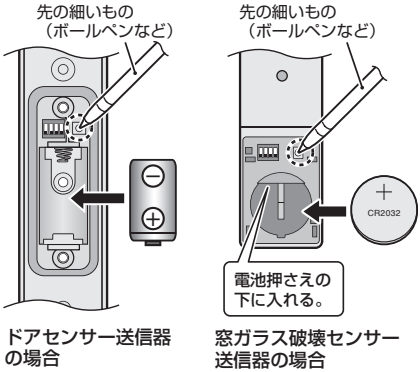
ドアセンサー送信器・門扉センサー送信器・窓ガラス破壊センサー送信器

❶ リチウム電池をはずす

❷ 登録送信ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける

➡登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。(窓ガラス破壊センサー送信器以外)

❸ 住まいるサポ親機にエリア・用途名(玄関、窓1、窓2あるいは敷地)と登録番号が表示されるので、確認する



ドアセンサー送信器の場合

窓ガラス破壊センサー送信器の場合

窓センサー送信器

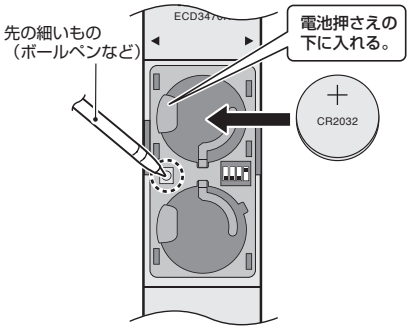
❶ リチウム電池を上下ともはずす

❷ 登録送信ボタンを押しながら上側のリチウム電池を入れ、(下側のリチウム電池ははずしたまま)そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける

➡登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約1秒間鳴ります。

❸ 住まいるサポ親機にエリア・用途名(窓1、窓2)と登録番号が表示されるので、確認する

❹ 下側のリチウム電池を入れる



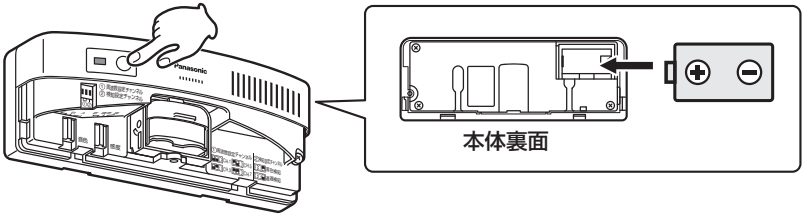
注 登録するエリアを間違えた場合、登録エリアを変更してください。
(参照)36ページ)

熱線センサー送信器

❶ リチウム電池をはずす

❷ 登録送信ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま登録送信ボタンを約3秒間押し続ける

➡登録すると、送信器から登録確認音「ピー」が約１秒間鳴ります。



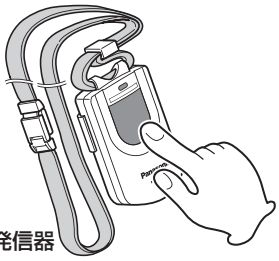
❸ 住まいるサポ親機にエリア・用途名（敷地）と登録番号が表示されるので、確認する

❹ リチウム電池を再度、入れ直す

注 ●登録完了した後は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。
●電池を入れてから約30秒間は動作しません。

ペンダント発信器・壁掛発信器

❶ 電池を入れて、押ボタンを押す


ペンダント発信器

壁掛発信器

❷ 住まいるサポ親機にエリア・用途名（非常）と登録番号が表示されるので、確認する

次ページへ続く

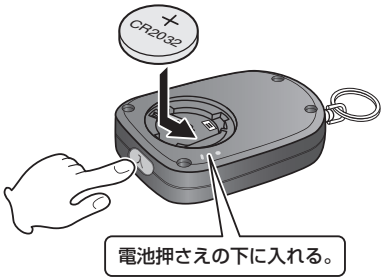
警戒セット・解除発信器

① リチウム電池をはずす

② 電源ボタンを押しながらリチウム電池を入れ、そのまま電源ボタンを約3秒間押し続ける

③ リチウム電池を再度、入れ直す

注 登録完了した後は必ず電池を入れ直してください。正しく動作しません。



中継器

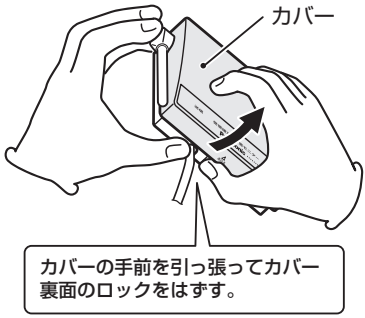
① カバーをはずす

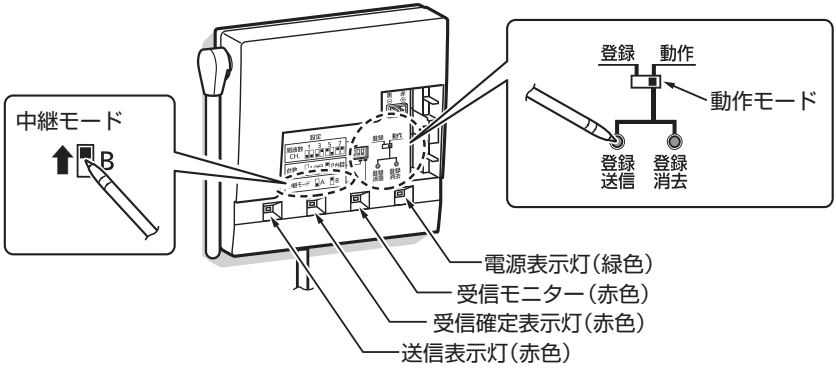
② 中継モードを「B」に設定する

③ 動作モードにする

④ 登録送信ボタンを3秒以上長押しする

➡登録されると、受信モニターと受信確定表示灯は点滅、送信表示灯は約2秒間点灯します。その後、電源表示灯が緑色点滅から点灯に変わります。





住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)の登録

品　番	登録可能台数
住宅用火災警報器(ワイヤレス連動親器)(SHK32717)	1台

注
- 住宅用火災警報器(ワイヤレス連動親器)に付属の説明書も参照してください。
- 登録は住まいるサポ親機の近くで行ってください。
- 住まいるサポ親機に登録できるのはワイヤレス連動親器のみです。ワイヤレス連動子器は登録不要です。(ワイヤレス連動親器を登録すれば、ワイヤレス連動子器での火災や電池切れなども表示できます。)

1 火災警報器 をタッチする

➡確認画面が表示されます。

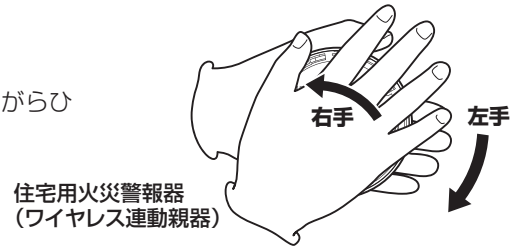
2 はい をタッチする

➡「火災警報器の登録操作を行ってください。登録を終了する場合は完了ボタンを押してください。」が表示されます。

注 登録操作は はい をタッチしてから10分以内に行ってください。

3 住宅用火災警報器の取付ベースをはずす

- 手のひらにのせて押し付けながらひねってください。

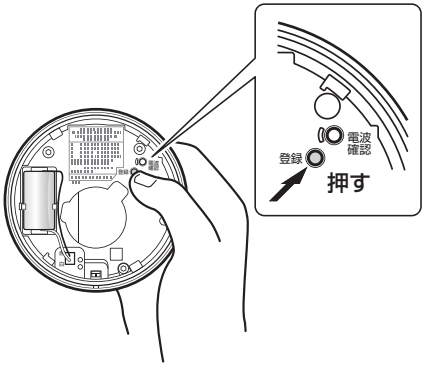


次ページへ続く

4 登録ボタンを押す

➡「火災警報器を登録しました。」が表示されます。

- 住宅用火災警報器からは「ピッ、登録しました。子器○台です。」(○：登録台数)が鳴ります。
- 登録できなかった場合は、「登録に失敗しました。」が表示されます。 了解 をタッチして再度登録操作を行ってください。



5 完了 をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。

つづいて…

- 警報ランプ付ブザー受信器を登録する場合は 参照 27～28ページ
- 登録が完了した場合は 参照 29～31ページ

警報ランプ付ブザー受信器の登録

品　番	登録可能台数
警報ランプ付ブザー受信器（ECD6130K）	登録台数制限なし

注 警報ランプ付ブザー受信器に付属の説明書も参照してください。

1 警報ブザー をタッチする

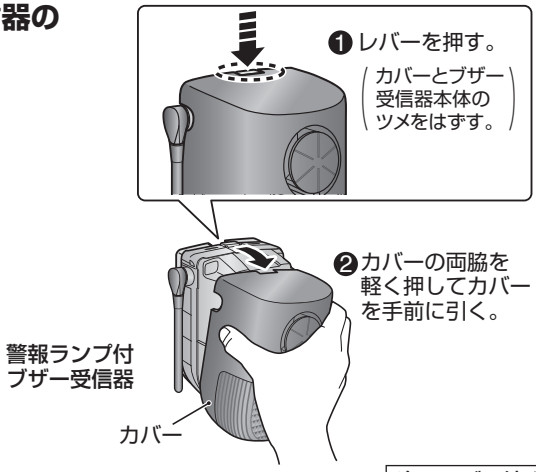
➡確認画面が表示されます。

2 はい をタッチする

➡「警報ランプ付ブザーを登録モードにしてください。登録の完了は警報ランプ付ブザーで確認してください。」が表示されます。

注 登録操作は はい をタッチしてから10分以内に行ってください。

3 警報ランプ付ブザー受信器のカバーをはずす



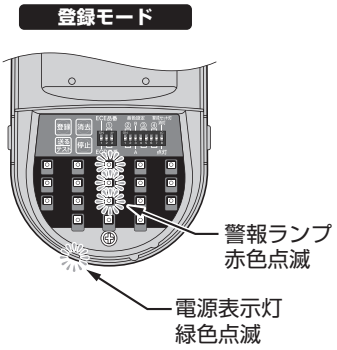
次ページへ続く

4 警報ランプ付ブザー受信器の電源を入れる

➡警報ランプ付ブザー受信器が登録モードになります。

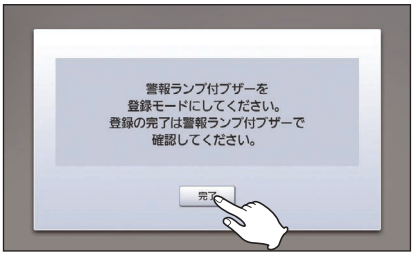
●警報ランプ付ブザー受信器で登録確定音「ピー」が鳴ったら登録完了です。

注 **警報ランプが消灯し、電源表示灯が点灯する場合は、すでに警報ランプ付ブザー受信器に発信器・送信器などが登録されています。警報ランプ付ブザー受信器の説明書にしたがい、発信器・送信器の登録を消去してください。**
消去すると、警報ランプ付ブザー受信器は登録モードになります。



5 [完了] をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。



電波到達を確認する

登録した各機器を実際に設置する場所付近（床の上など）に置き、電波が住まいるサポ親機に届くことを確認します。

注 モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。

発信器・送信器の電波到達確認

1 ワイヤレスセンサー設定画面を表示させる

（参照 19ページ）

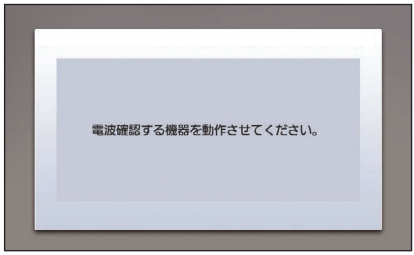
2 発信器・送信器 をタッチする

➡「電波確認する機器を動作させてください。」が表示されます。

3 登録している発信器・送信器および警戒セット・解除発信器を、実際に使用する場所で動作させる

例）送信器を動作させたり、発信器の押ボタンを押す。

注 登録しているすべての発信器・送信器および警戒セット・解除発信器で電波の到達を確認してください。



▼

➡正常にすべての機器の電波を受信したエリアには「正常」が表示されます。

- エリア内の各機器の状態を知りたい場合はそのエリアの 詳細 をタッチしてください。（参照 次ページ手順4）
- 正常に電波を受信していない機器のあるエリアには「－」が表示されますので、機器を特定してください。（参照 次ページ手順4）

次ページへ続く

4 詳細 をタッチした場合

➡タッチしたエリアの詳細画面が表示されます。

- 「−」と表示されたままで「正常」と表示されない発信器・送信器および警戒セット・解除発信器は使用場所を変更するか、中継器を設置・登録し、再度電波の到達を確認してください。
- 戻る をタッチすると、ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。（参照 10ページ）

住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）の電波到達確認

1 火災警報器 をタッチする

➡「火災警報器を動作させてください。」が表示されます。

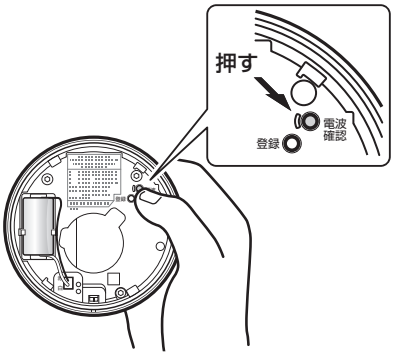
2 実際に使用する場所で住宅用火災警報器の電波確認ボタンを押す

➡「火災警報器　電波確認中」が表示されます。

➡電波の到達が確認されると、「火災警報器　正常です。」が表示されます。

●「火災警報器 電波確認中」画面で 中止 をタッチすると電波確認を中止し、ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。

●正常に電波を受信していない場合は、「火災警報器と通信できません。火災警報器の位置を変更してから再度実行してください。」が表示されます。 了解 をタッチして住宅用火災警報器の位置を変更してから、再度確認操作を行ってください。



住宅用火災警報器
（ワイヤレス連動親器）

3 完了 をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。

●住宅用火災警報器からは「ピッ、電波チェック正常です。」と約1分間鳴ります。

（警報停止ボタンを押すと、止まります。）

●操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。（参照 10ページ）

次ページへ続く

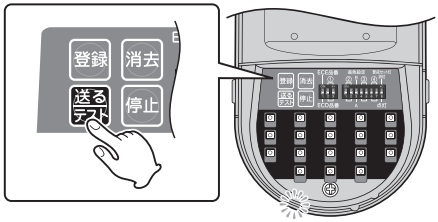
警報ランプ付ブザー受信器の電波到達確認

1 警報ブザー をタッチする

➡「警報ランプ付ブザーの「送る/テスト」ボタンを３秒以上押してください。確認した後に完了ボタンを押してください。」が表示されます。

2 警報ランプ付ブザー受信器の「送る/テスト」ボタンを3秒以上長押しする

➡警報ランプ付ブザー受信器から確定音「ピピピー」が鳴ったら正常です。

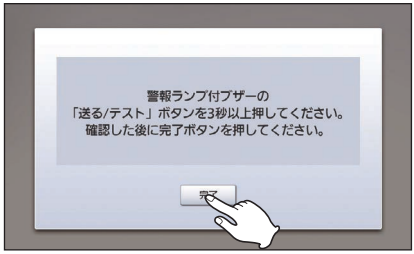


警報ランプ付ブザー受信器

3 完了 をタッチする

➡ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。

●操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。（参照 10ページ）



ワイヤレス機器登録を個別消去する

発信器・送信器、警戒セット・解除発信器、中継器、住宅用火災警報器（ワイヤレス連動親器）が故障して交換が必要な場合などに、個別に登録を消去します。

●機器を選んで登録を消去する場合は「個別消去」（下記）、一度にすべての登録を消去する場合は「全消去」（参照 35ページ）を行ってください。

注

●モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。
●個別消去では警報ランプ付ブザー受信器の登録は消去できません。
警報ランプ付ブザー受信器だけの登録を消去したい場合は、警報ランプ付ブザー受信器に付属の説明書を参照してください。
●住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）が動作した場合や動作直後は、「消去中」の表示の後に「消去に失敗しました。」が表示され、消去できない場合があります。
機器の状態を確認し、しばらく待ってから再度操作してください。

発信器・送信器・中継器の個別消去

1 ワイヤレスセンサー設定画面を表示させる

（参照 19ページ）

2 個別消去 をタッチする

➡個別消去画面が表示されます。

3 消去する発信器・送信器・中継器が登録されているセンサーの種別（エリア・用途）をタッチする

➡個別消去センサー選択画面が表示されます。

（窓1エリアを表示させる場合）

次ページへ続く

4 消去する機器にチェックを入れて［決定］をタッチする

➡確認画面が表示されます。

5 ［はい］をタッチする

➡「消去中」が表示され、消去されると「消去しました。」が表示されます。

- ［いいえ］をタッチすると、前画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。（参照 10ページ）

住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）の個別消去

1 個別消去画面で［火災警報器］をタッチする

（参照 33ページ）

➡確認画面が表示されます。

2 ［はい］をタッチする

➡「消去中」が表示され、消去されると「消去しました。火災警報器本体から消去を行ってください。」が表示されます。

- ［いいえ］をタッチすると、個別消去画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。（参照 10ページ）

注 **住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）でも消去操作を行ってください。**
〔住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）に付属の説明書を参照してください。住宅用火災警報器で消去操作を行うと、ワイヤレス連動子器の登録も消去されます。〕

ワイヤレス機器登録を全消去する

機器の登録を一度にすべて消去できます。

注
- **モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。**
- **全消去を実行すると、発信器・送信器、警戒セット・解除発信器、中継器、住宅用火災警報器(ワイヤレス連動親器)の登録が一度に消去されます。**
- **警報ランプ付ブザー受信器の登録は消去できません。消去したい場合は、警報ランプ付ブザー受信器に付属の説明書を参照してください。**

1 ワイヤレスセンサー設定画面を表示させる

(参照 19ページ)

2 全消去 をタッチする

➡確認画面が表示されます。

3 はい をタッチする

➡「消去中」が表示され、消去されると「消去しました。警報ランプ付ブザー 火災警報器各機器で消去を行ってください。」が表示されます。

- いいえ をタッチすると、ワイヤレスセンサー設定画面に戻ります。
- 操作を終了する場合は、終了ボタンを押してください。(参照 10ページ)

注 **住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)でも消去操作を行ってください。**
〔住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)に付属の説明書を参照してください。住宅用火災警報器で消去操作を行うと、ワイヤレス連動子器の登録も消去されます。〕

送信器の登録エリアを変更する

下記の送信器は登録エリアを変更することができます。たとえば、「窓1用」に使用していた窓センサー送信器を「窓2用」に変更するときなどに操作します。

登録エリアを変更できる送信器	変更可能な登録エリア
窓センサー送信器（ECD3470A・H）（ECD3470AP・HP） 窓ガラス破壊センサー送信器（ECD2490A・H）（ECD2490AP・HP）	窓1／窓2

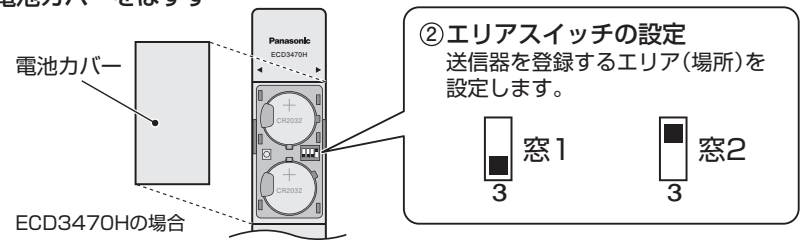
注
- モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、ワイヤレス機器は使用できません。
- 登録エリア変更は、住まいるサポ親機のモニター画面が消えている状態で行ってください。
- 住まいるサポ親機への消去・再登録は必要ありません。

1 親機で生活モードを「在宅」に設定する

（参照 取扱説明書70ページ）

2 登録するエリアを変更する送信器の「エリアスイッチの設定」を変更する

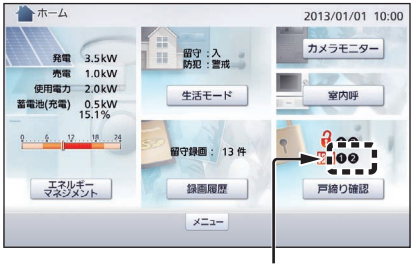
① 電池カバーをはずす



3 送信器の電池を入れ直す

4 親機の開始ボタンを押してから窓を何度か開け閉めする

- ホーム画面で開閉状態が正しく反映されているか確認してください。



開いている窓が表示されます。

動作確認とトラブル処置について

登録・電波到達確認が終了すれば、取扱説明書にしたがって各機器の動作が正常に行われるか確認してください。

- 登録・設定・動作確認時にトラブルが起きたときなど、故障かな？と思っても、修理を依頼される前に一度下記の表で症状をご確認ください。なお、これらの処置をしても問題が解決されない場合、機器が故障していると判断された場合、および該当項目がない場合は、当社に相談してください。

注 **モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、以下の確認は不要です。**

発信器・送信器の登録

1. 特定の発信器・送信器が登録できない

状　態	処　置
複数の発信器・送信器のうち、特定の発信器・送信器が登録できない。	発信器・送信器ごとに確認項目が違います。「登録機器の確認」を参照し、該当する品番の処置を確認してください。（参照 40～41ページ）
発信器・送信器は動作（動作表示灯点灯や操作音鳴動など）するが、登録できない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、住まいるサポ親機と異なる場合は合わせてください。（住まいるサポ親機の施工説明書「取付方法」、およびそれぞれの発信器・送信器の説明書を参照してください。）
発信器・送信器を移動させると登録できる。	住まいるサポ親機まで電波が届いていません。発信器・送信器を移動させるか、中継器（ECD3100）を設置してください。（中継器の説明書を参照してください。）

2. すべての発信器・送信器が登録できない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作（動作表示灯点灯や操作音鳴動など）するが、登録できない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、住まいるサポ親機と異なる場合は合わせてください。（住まいるサポ親機の施工説明書「取付方法」、およびそれぞれの発信器・送信器の説明書を参照してください。）
発信器・送信器を動作させていないのに、住まいるサポ親機の受信ランプが点灯・点滅している。	住まいるサポ親機が周辺ノイズの影響を受けています。使用環境を確認して、影響を与えている機器を移動させてください。住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）を使用していない場合は、受信ランプが消灯する周波数チャンネルに変更してください。その場合は発信器・送信器も同じ周波数チャンネルに変更してください。

次ページへ続く

動作しない

1. 特定の発信器・送信器が動作しない

状　態	処　置
特定の発信器・送信器が動作しない。	発信器・送信器ごとに確認項目が違います。「登録機器の確認」を参照し、該当する品番の処置を確認してください。（参照 40～41ページ）

2. 特定の発信器・送信器を動作させたときに住まいるサポ親機が動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作（動作表示灯点灯や操作音鳴動など）するが、住まいるサポ親機が動作しない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、住まいるサポ親機と異なる場合は合わせてください。（住まいるサポ親機の施工説明書「取付方法」、およびそれぞれの発信器・送信器の説明書を参照してください。）
発信器・送信器を移動させると住まいるサポ親機が動作する。	住まいるサポ親機まで電波が届いていません。発信器・送信器を移動させるか、中継器（ECD3100）を設置してください。（中継器の説明書を参照してください。）

3. どの発信器・送信器を動作させても住まいるサポ親機が動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器は動作（動作表示灯点灯や操作音鳴動など）するが、住まいるサポ親機が動作しない。	発信器・送信器の周波数チャンネルを確認し、住まいるサポ親機と異なる場合は合わせてください。（住まいるサポ親機の施工説明書「取付方法」、およびそれぞれの発信器・送信器の説明書を参照してください。）
発信器・送信器を動作させていないのに、住まいるサポ親機の受信ランプが点灯・点滅している。	住まいるサポ親機が周辺ノイズの影響を受けています。使用環境を確認して、影響を与えている機器を移動させてください。住宅用火災警報器（ワイヤレス連動型）を使用していない場合は、受信ランプが消灯する周波数チャンネルに変更してください。その場合は発信器・送信器も同じ周波数チャンネルに変更してください。

正常に動作しない

状　態	処　置
発信器・送信器を登録できたが、電波到達確認操作で受信できない。	電波到達確認操作では住まいるサポ親機の受信レベル(感度)を下げています。実際の使用中に電波が届かない場合がありますので、発信器・送信器を移動させるか、中継器(ECD3100)を設置してください。(中継器の説明書を参照してください。)
発信器・送信器を動作させていないのに住まいるサポ親機が動作する。	窓センサー送信器、ドアセンサー送信器、および門扉センサー送信器のマグネットが正しく取り付けられているか確認してください。

ワイヤレスセンサーの登録を消去したい

状　態	処　置
ワイヤレスセンサーの登録を消去したい。	消去操作をします。消去方法は、個別消去、全消去のパターンから選ぶことができます。(参照 33～34、35ページ)

異常表示

状　態	処　置
受信ランプが常時点灯・点滅する。	住まいるサポ親機が周辺ノイズの影響を受けています。使用環境を確認して、影響を与えている機器を移動させてください。住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)を使用していない場合は、受信ランプが消灯する周波数チャンネルに変更してください。その場合は発信器・送信器も同じ周波数チャンネルに変更してください。
住まいるサポ親機のお知らせランプが点滅する。	発信器・送信器の電池切れや故障など、あるいはファームウェア公開に関する通知などの可能性があります。内容を確認してください。(取扱説明書の「お知らせランプが赤色点滅したら」を参照してください。)

次ページへ続く

登録機器の確認

●ペンダント発信器（ECD2305）
●壁掛発信器（ECD2308）

状　態	処　置
押ボタンを押したときに、発信表示灯が点灯しない、または操作音「ピッ」が鳴動しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●熱線センサー送信器（屋側用）（ECD3420A・H）（ECD3420AP・HP）

状　態	処　置
電池を入れてすぐに動作しない。	電池を入れた後、約30秒間は検知動作ができません。30秒以上経過するまでお待ちください。
一度検知するとしばらく検知しない。	一度検知した後、約10秒間は検知しません。10秒以上経過するまでお待ちください。
送信器側で音色設定Aまたは音色設定Bに設定しても、動作表示灯点灯後に音が鳴らない。	住まいるサポ親機が非警戒状態になっています。住まいるサポ親機を警戒セットまたは報知セット状態にしてください。
検知範囲内で動いても動作しない。	熱線センサーは、検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検知します。人体と周辺の温度差が少ない場合や、検知範囲内に障害物がある場合などは検知できません。送信器の説明書にしたがい、周辺環境を見直してください。
上記処置をしたが動作しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。
検知範囲内に人がいないのに動作する。	熱線センサーは、検知範囲内の温度変化分（3℃以上）を検知します。検知範囲内に温度変化する物体や、動く物体があると動作します。送信器の説明書にしたがい、周辺環境を見直してください。

●窓センサー送信器（ECD3470A・H）（ECD3470AP・HP）
●ドアセンサー送信器（ECD3472A・H）（ECD3472AP・HP）
●門扉センサー送信器（ECD3474A・H）（ECD3474AP・HP）

状　態	処　置
住まいるサポ親機の戸締り確認ランプが点灯し、ドアや窓の開閉を検知できない。	本体用マグネットが正しく取り付けられていない可能性があります。送信器をテストモードにして、マグネットの検知範囲を確認してください。詳しくは送信器の説明書を参照してください。
上記処置をしたが動作しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

登録機器の確認（つづき）

●警戒セット・解除発信器（ECD3320・ECD3320P）

状　態	処　置
電源ボタンを押したときに、電源表示灯が点灯しない、または操作音「ピッ」が鳴動しない。	電池を正しく入れ直すか、交換してください。

●住宅用火災警報器（ワイヤレス連動親器）（SHK32717）

状　態	処　置
登録できない。動作しない。	電池が正しく接続されているか確認してください。
動作するが登録できない。	●住まいるサポ親機の周波数チャンネルが「CH.1」に設定されているか確認してください。（住まいるサポ親機の施工説明書「取付方法」を参照してください。） ●住宅用火災警報器（ワイヤレス連動子器）の登録台数を確認してください。
住宅用火災警報器を移動させると登録できる。	住まいるサポ親機まで電波が届いていません。住宅用火災警報器の設置場所を変更してください。
住宅用火災警報器から「ピッピッ、電波が受信できません。」と鳴る。	●登録済みの住宅用火災警報器（連動子器）の電池を抜いていないか確認してください。 ●住まいるサポ親機の電源スイッチやブレーカーが切れていないか確認してください。 ●周辺ノイズの影響を受けています。使用環境を確認して、影響を与えている機器を移動させてください。

●警報ランプ付ブザー受信器（ECD6130K）

状　態	処　置
電源表示灯が点灯しない。動作しない。	電源を入れてください。
警報ランプ付ブザー受信器は動作するが、登録できない。	警報ランプ付ブザー受信器の周波数チャンネルを確認し、住まいるサポ親機と異なる場合は合わせてください。
動作したり、動作しなかったりする。	警報ランプ付ブザー受信器まで電波が届いていません。中継器（ECD3100）を設置してください。（中継器の説明書を参照してください。）

出荷時設定に戻す

「ワイヤレスセンサー設定」を含む各設定を工場出荷時状態に戻します。(ワイヤレスセンサー登録は消去されます。)

- ●「モード切換(参照 55ページ)」は出荷時設定に戻りません。
- ●モード切換が通常モードの場合は、「時刻」、「ズーム初期位置」以外の「機能設定」「拡張設定」「本体設定」「施工設定」の各設定が出荷時設定に戻ります。
- ●モード切換がAiSEG専用モードの場合は、「明るさ」「操作音」「ネットワーク」「履歴データ長期保存」「住まいのメッセージ」が出荷時設定に戻ります。

1 施工設定画面を表示させる

(参照 8～9ページ)

2 出荷時設定 をタッチする

➡確認画面が表示されます。

モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、モード切換 が表示されますが 接続 ワイヤレスセンサー バックアップ は表示されません。

3 はい をタッチする

➡出荷時設定が始まり「消去中」が表示されます。終わると「出荷時設定に戻しました。再起動します。」が表示され、約5秒後に本製品が再起動します。

- ● いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。

住宅用火災警報器(ワイヤレス連動型)が動作した場合や動作直後は、「消去中」の表示の後に「消去に失敗しました。」が表示され、ワイヤレスセンサーの登録が消去できない場合があります。機器の状態を確認し、しばらく待ってから再度操作してください。(その他の各設定は、再起動後に工場出荷時状態に戻ります。)

展示モードについて

店頭などで商品を展示する際に、「展示モード」にすることができます。通常は何も操作しない状態が約3分間続くと画面は消えますが、展示モードに設定すると、約60分間、画面が表示されたままになります。

- **一般家庭では、展示モードは使用しないでください。**
- **展示モードで使用すると映像は映し出しますが、展示中のハウリングを防ぐため通話はできません。**
- **展示モードに設定した場合、電源を切っても展示モードは解除されません。解除するには必ず以下の操作を行い、手順3で「切」に設定してください。**

展示モード中の画面

〔通常モード(参照 55 ページ)の場合〕

展示モード と表示されます。

1 施工設定画面を表示させる

(参照 8～9ページ)

2 展示モード をタッチする

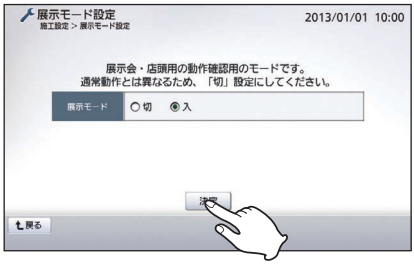
➡展示モード設定画面が表示されます。

モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、モード切換 が表示されますが 接続 ワイヤレスセンサー バックアップ は表示されません。

3 「入」を選んで 決定 をタッチする

➡本製品が展示モードとなり、施工設定画面に戻ります。

- 展示モードを解除するときは「切」を選んで 決定 をタッチしてください。



次ページへ続く

4 操作が終われば終了ボタンを押す

➡設定を変更した場合は、「設定を更新後、再起動します。」が表示され、再起動が行われます。

➡設定を変更していない場合は、「設定を終了します。しばらくお待ちください。」が表示され、再起動が行われます。

メモ

- AiSEGを組み合わせて使用している場合、AiSEG側で「デモモード」に設定することができます。「デモモード」に設定すると、店頭で商品を説明する際に動作させる機器を個別に選択することができます。参照 AiSEGの設定マニュアル

SDメモリーカードでファームウェアを更新する

SDメモリーカードを使ってファームウェアの更新を行うことができます。

- ●SDメモリーカードによるファームウェア更新ができるのは、ファームウェア更新データが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみです。
- ●最新のファームウェア更新データは当社ホームページからパソコンにダウンロードしてください。
  http://www2.panasonic.biz/es/densetsu/aiseg/
  動作環境やダウンロード方法などについては、必ずホームページでご確認ください。
- ●ダウンロードしたファームウェア更新データは、SDメモリーカードの一番上の階層に保存してください。フォルダを作って保存したり、ファイル名称や属性の変更などは行わないでください。
- ●データを破損するおそれがありますので、ファームウェア更新操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。
- ●ファームウェア更新完了後は、必ずSDメモリーカードに保存したファームウェア更新データを削除してください。

1 画面が消えている状態で、ファームウェア更新データが保存されたSDメモリーカードを挿入する

（参照 取扱説明書45ページ）

2 施工設定画面を表示させる

（参照 8～9ページ）

3 ファームウェア更新 をタッチする

➡確認画面が表示されます。

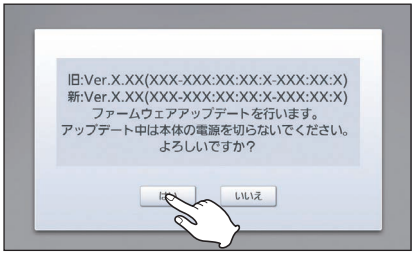
注 ファームウェア更新データが保存されているSDメモリーカードが挿入されていない場合は ファームウェア更新 は表示されません。

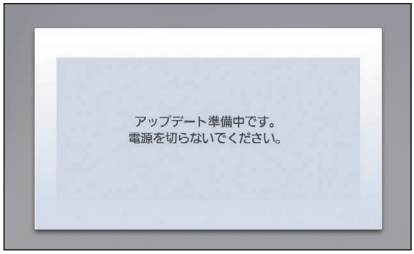
次ページへ続く

4 はい をタッチする

➡ファームウェア更新が始まります。

- いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。
- 更新には約10分かかります。





- 右画面が表示された後、「アップデートの準備が完了しました。アップデートを開始します。」→「 アップデート中です。電源を切らないでください。」と画面が切り替わります。
- アップデートが成功すると、「アップデートが成功しました。」が表示されます。

5 開始ボタンを押す

➡画面が消えて、再起動が行われます。

- 開始ボタンを押さなくても、「アップデートが成功しました。」画面は約3分後に消えて自動的に再起動が行われます。

注 **再起動中は操作できません。**

設定データをバックアップする

親機の設定内容をSDメモリーカードにバックアップ（保存）することができます。

●バックアップされる設定項目については48ページを参照してください。

注

●モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、バックアップ操作はできません。

●データを破損するおそれがありますので、バックアップ操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。

1 画面が消えている状態で、バックアップデータを保存するためのSDメモリーカードを挿入する

（参照 取扱説明書45ページ）

2 施工設定画面を表示させる

（参照 8～9ページ）

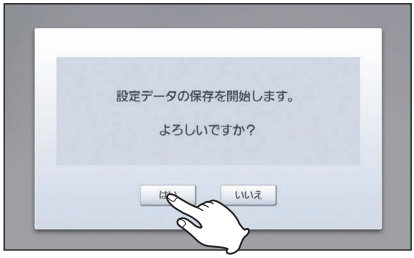
3 バックアップ をタッチする

➡確認画面が表示されます。

4 はい をタッチする

➡「データ保存中　電源を切ったりカードを抜くなど本体操作をしないでください。」が表示され、バックアップが始まります。

●いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



次ページへ続く

5 右画面が表示されれば 了解 をタッチする

➡施工設定画面に戻ります。

注 バックアップに失敗した場合は、「設定データの保存に失敗しました。」が表示されます。表示内容を確認して 了解 をタッチし、SDメモリーカードの書き込みスイッチがLOCK側になっていないかなどの確認操作を行った後、手順❶から操作し直してください。

6 操作が終われば 終了ボタンを押す

➡バックアップ操作をした場合は、「設定を更新後、再起動します。」が表示され、再起動が行われます。

➡バックアップ操作をしていない場合は、「設定を終了します。しばらくお待ちください。」が表示され、再起動が行われます。

■バックアップされる設定項目

項目名	参照ページ
生活モードの設定内容	取扱説明書 60
子器の明るさ	取扱説明書 80
呼出音量	取扱説明書 145
操作音	取扱説明書 147
履歴データ長期保存	取扱説明書 153
室内機名称	取扱説明書 157
子器名称	取扱説明書 160
電気錠名称	取扱説明書 161
ワイヤレスセンサー名称	取扱説明書 162

項目名	参照ページ
室内呼トークバック	取扱説明書 163
子器呼出	取扱説明書 166
電気錠操作	取扱説明書 168
明るさ	取扱説明書 170
ネットワーク	取扱説明書 171
接続	本冊子 14
展示モード	本冊子 43
モード切換	本冊子 55

バックアップデータをリストアする

SDメモリーカードにバックアップ（保存）した内容で、親機の設定内容をリストア（復旧）することができます。

注
- モード切換（参照 55ページ）を「AiSEG専用モード」に設定している場合、リストア操作はできません。
- リストア操作ができるのは、バックアップ（参照 47ページ）データが保存されているSDメモリーカードが挿入されている場合のみです。
- データを破損するおそれがありますので、リストア操作中は電源を切ったりSDメモリーカードを抜いたりしないでください。

1 画面が消えている状態で、バックアップデータが保存されたSDメモリーカードを挿入する

（参照 取扱説明書45ページ）

2 施工設定画面を表示させる

（参照 8～9ページ）

3 リストア をタッチする

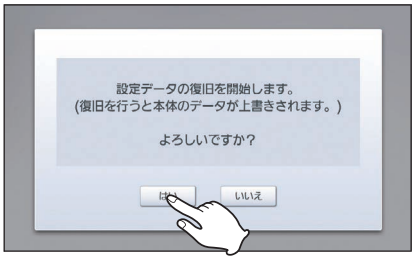
➡確認画面が表示されます

注 バックアップデータが保存されているSDメモリーカードが挿入されていない場合は リストア は表示されません。

4 はい をタッチする

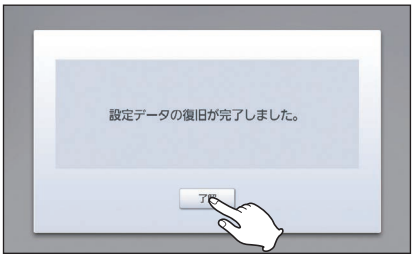
➡「データ復旧中　電源を切ったりカードを抜くなど本体操作をしないでください。」が表示され、リストアが始まります。

- いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



次ページへ続く

5 右画面が表示されれば 了解 をタッチする



➡施工設定画面に戻ります。

注 リストアに失敗した場合は、「設定データの復旧に失敗しました。」が表示されます。表示内容を確認して 了解 をタッチし、SDメモリーカードの書き込みスイッチがLOCK側になっていないかなどの確認操作を行った後、手順❶から操作し直してください。

6 操作が終われば 終了ボタンを押す

➡リストア操作をした場合は、「設定を更新後、再起動します。」が表示され、再起動が行われます。

➡リストア操作をしていない場合は、「設定を終了します。しばらくお待ちください。」が表示され、再起動が行われます。

メモ

- 親機の故障交換時など、バックアップデータを異なる親機にリストアした場合は、ワイヤレス機器の設定・登録(参照>16 ページ)を再度行う必要があります。特に発信器・送信器を登録する際は、発信器・送信器に貼った番号シール(参照>7 ページ)順に登録してください。登録する順番を入れ替えると、登録した機器と画面に表示される名称などが一致しなくなります。

設定状態シート

設定後、お客様の控えのため、設定状態を書き込んでお渡しください。

- モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、本シートは使用しません。
- 通話副親機については本体裏面の設定スイッチで設定してください。(副親機には設定スイッチはありません。)
- 室内機2には副親機、通話副親機のいずれか1台しか接続できません。

〔室内機1〕:親機　　(☑を記入してください。)

設定項目	設定状態	
電気錠1	☐ なし(工場出荷時)	☐ あり
電気錠2	☐ なし(工場出荷時)	☐ あり
子器1の警報表示	☐ 警報表示なし(工場出荷時)	☐ 警報表示あり
子器2のカメラ設定	☐ カメラ設定なし	☐ カメラ設定あり(工場出荷時)
ネットワーク連携	☐ 切	☐ 入(工場出荷時)
展示モード	☐ 切(工場出荷時)	☐ 入
モード切換	☑ 通常モード(工場出荷時)	(ドアホン子器などを使用する場合は、必ず通常モードでお使いください。)

〔室内機2〕:通話副親機　　(☑を記入してください。)

設定項目	設定状態	
ドアホン設定(子器1)	☐ 子器呼出なし	☐ 子器呼出あり(工場出荷時)
ドアホン設定(子器2)	☐ 子器呼出なし	☐ 子器呼出あり(工場出荷時)
トークバック設定	☐ 切	☐ 入(工場出荷時)
HA端子(電気錠)操作設定(WQH771Wのみ)	☐ なし	☐ あり(工場出荷時)

登録設定シート

発信器・送信器登録設定シート

注 モード切換(参照 55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、本シートは使用しません。

登録した発信器・送信器の登録エリアや設置場所を書き込んでください。

エリア	登録番号あるいは設定した自由文	発信器・送信器の品番	設置場所
(例)玄関	1	ECD3472A	玄関 [設置場所が特定できるように記入してください。※例：2階の東側窓 など]

エリア	登録番号あるいは 設定した自由文	発信器・ 送信器の品番	設置場所

次ページへ続く

警戒セット・解除発信器登録設定シート

モード切換(参照>55ページ)を「AiSEG専用モード」に設定している場合、本シートは使用しません。

所有者の欄には “お父さん” など、その警戒セット・解除発信器を所持している人を書き込んでください。

利用台数	所　有　者
1台目	
2台目	
3台目	
4台目	
5台目	
6台目	
7台目	

AiSEG専用モードで使用する場合

ドアホン子器などを使用する場合は「通常モード」、ドアホン子器などを使用せずにAiSEGの専用モニターとして使う場合は「AiSEG専用モード」に設定します。工場出荷時は「通常モード」に設定されていますので、「AiSEG専用モード」で使用する場合は、以下の操作を行ってください。

- **モード切換ができるのは、子器や副親機、通話副親機などの機器を一切接続しておらずワイヤレス機器が未登録の状態で、本製品が工場出荷時状態の場合です。録画データがある場合もモード切換ができません。モード切換を行うには出荷時設定(参照>42ページ)を行ってください。ただし、出荷時設定を行うと設定データや録画データは全て消去されます。**
- **AiSEG専用モードに設定すると、本製品はAiSEGの専用モニターとなり、子器との通話などのドアホン操作が一切できなくなり、ワイヤレス機器も使用できません。**
- **施工設定は、手順6で［はい］をタッチしてから20分以内に行ってください。20分を超えると自動的に施工設定を終了します。**
- **施工設定の途中で電源が切れると設定されませんので、最初からやり直してください。施工設定は、一度設定すれば停電になっても設定内容は消えません。**

1 モニター画面が消えている状態で開始ボタンを押す

➡ホーム画面が表示されます。

モード切換をすでに「AiSEG専用モード」に設定している場合は、AiSEGの起動画面(電流の流れ画面など)が表示されます。

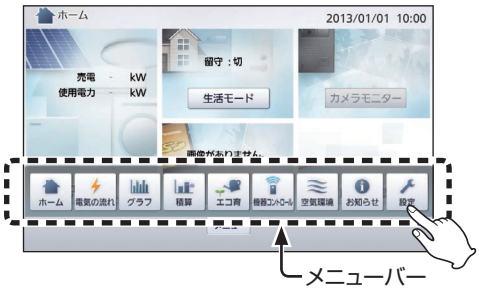
2 ［メニュー］をタッチする

➡メニューバーが表示されます。

次ページへ続く

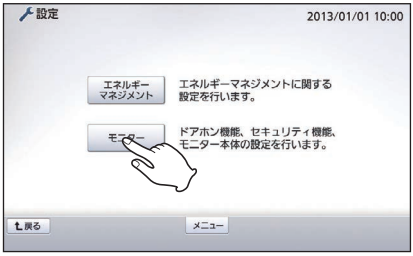
3 [設定] をタッチする

➡設定画面が表示されます。



4 [モニター] をタッチする

➡ドアホン機能設定画面が表示されます。



5 [施工設定] をタッチする

➡確認画面が表示されます。

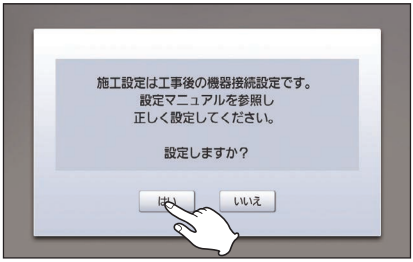
注 ●使用できないボタンはグレー表示となり動作しません。

●モード切換をすでに「AiSEG専用モード」に設定している場合は、モニター設定画面が表示されます。参照 次ページメモ欄

6 [はい] をタッチする

●[いいえ] をタッチすると、ドアホン機能設定画面に戻ります。

注 手順7～9は [はい] をタッチしてから20分以内に行ってください。



7 モード切換 をタッチする

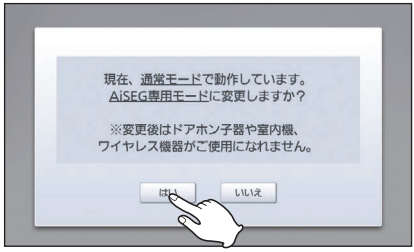
➡確認画面が表示されます。

注 モード切換をすでに「AiSEG専用モード」に設定している場合は、接続 ワイヤレスセンサー バックアップ が表示されません。

8 はい をタッチする

➡「AiSEG専用モードで動作させるため、再起動します。」が表示され、再起動が行われます。

● いいえ をタッチすると、施工設定画面に戻ります。



注
- **モードを切り換えた後、約1分間は操作すると画面が黒くなるなど正常に表示できない場合があります。1分以上経過してから操作してください。**
- **AiSEG専用モードから通常モードに戻すときも操作は同じです。**

メモ

- モード切換をすでに「AiSEG専用モード」に設定している場合は、手順4を行うと右のようなモニター設定画面が表示されます。

MEMO

●使いかた・お手入れのなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://www.panasonic.com/jp/support/

パナソニック 住宅エネルギーマネジメントシステムご相談窓口 365日 受付9時～20時

電 話 フリーダイヤル **0120-081-701**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は……

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト

http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

電 話 フリーダイヤル **0120-872-150**（パナイコー）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

365日　受付9時～20時

■上記番号がご利用いただけない場合は **06-6906-1090**

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
取扱説明書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地
© Panasonic Corporation 2014
8A3 K72 00002 M0314-11114Mj